

11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度

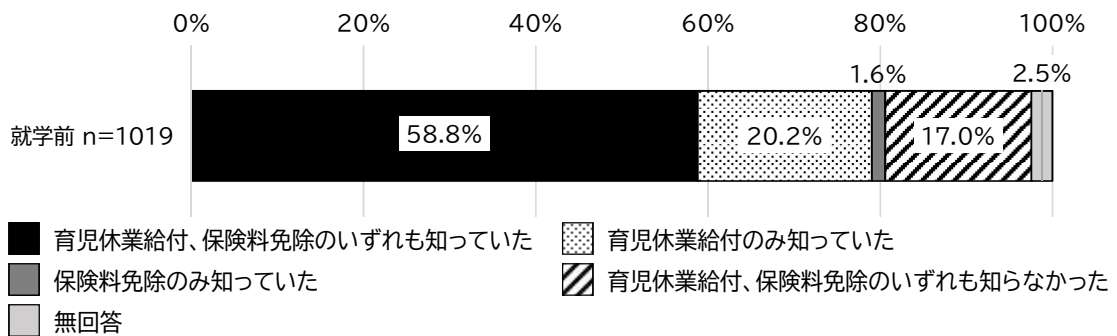
(1) 育児休業給付や健康保険、厚生年金保険免除についての認知度

<就学前:問31>

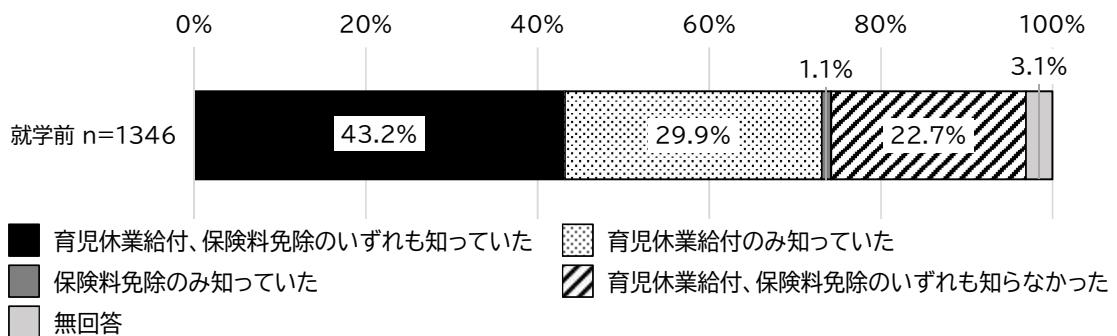
子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。
(単数回答)

就学前保護者は「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が58.8%と最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が20.2%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が17.0%、「保険料免除のみ知っていた」が1.6%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



(2) 父母の育児休業取得の有無と取得しなかった理由

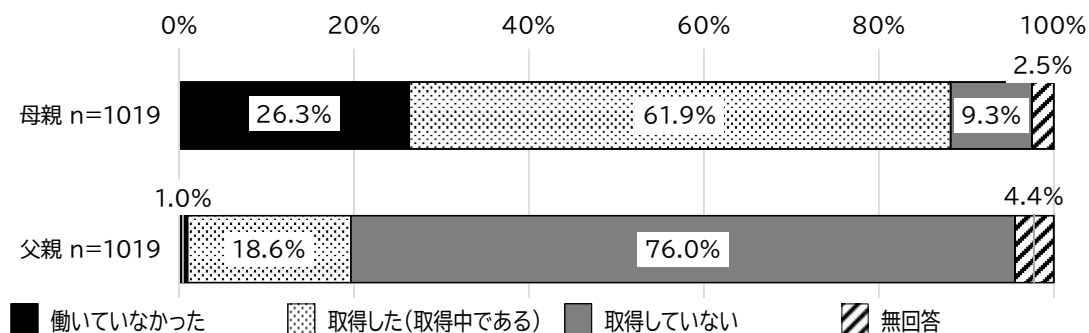
<就学前:問32>

宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(単数回答)

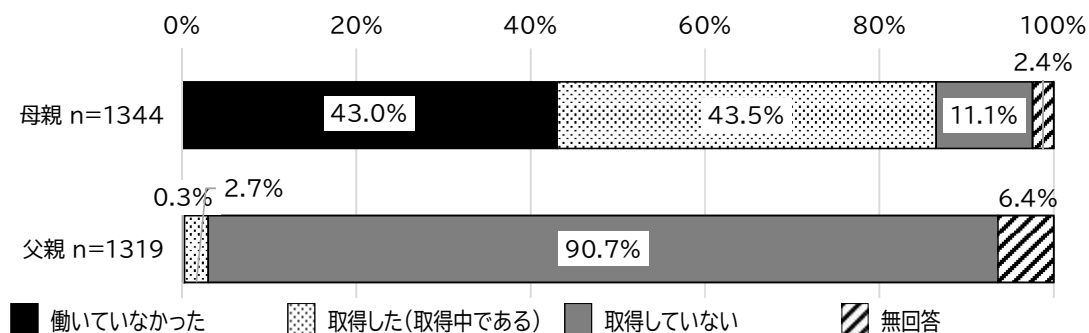
母親は「取得した(取得中である)」が61.9%と最も多く、次いで「働いていなかった」が26.3%、「取得していない」が9.3%となっています。

父親は「取得していない」が76.0%と最も多く、次いで「取得した(取得中である)」が18.6%、「働いていなかった」が1.0%となっています。

【今回調査】



【前回調査】

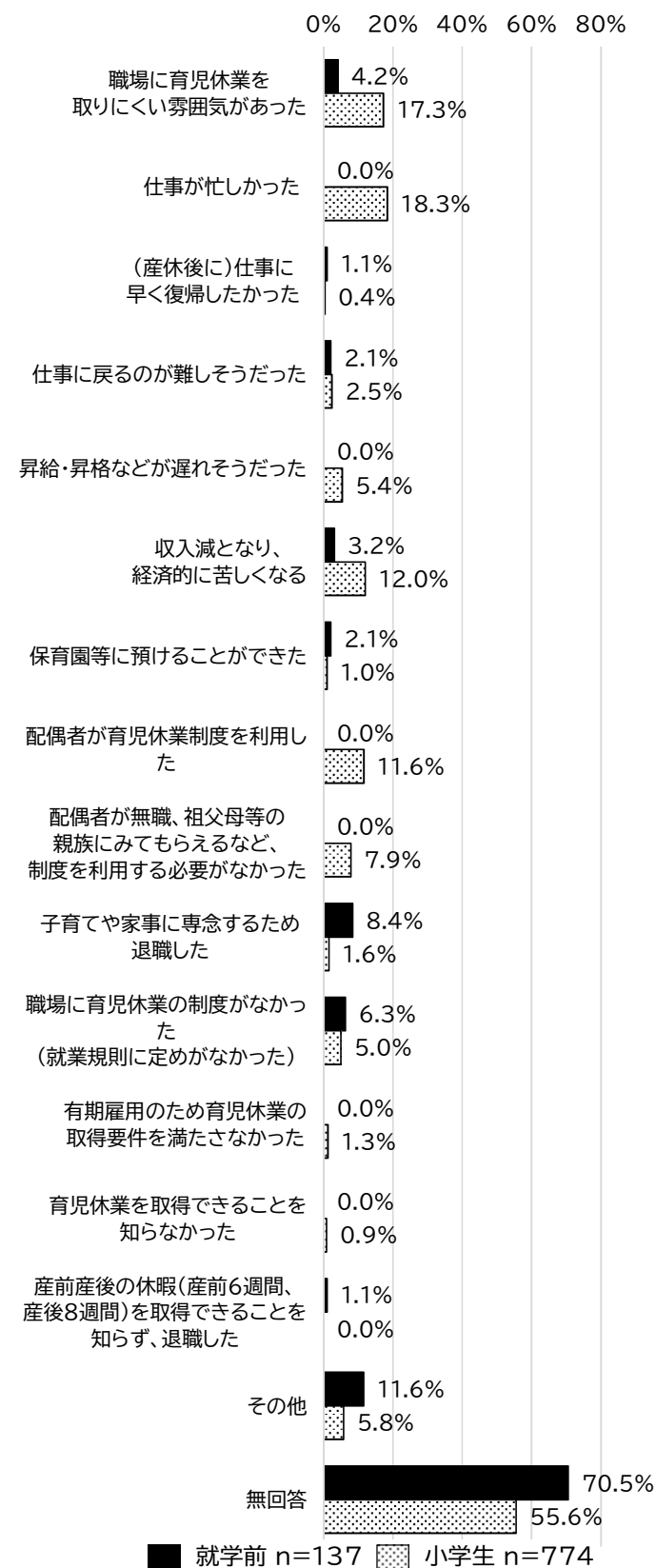


育児休業を取得していない理由

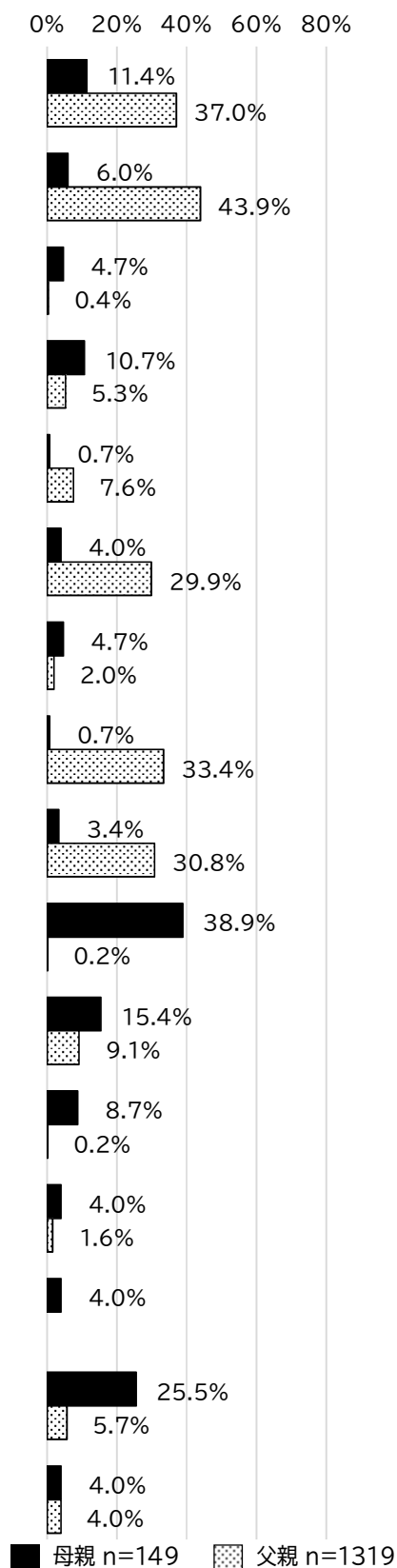
就学前は「子育てや家事に専念するため退職した」が8.4%と最も多く、次いで、「職場に育児休業の制度がなかった」が6.3%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が4.2%となっています。

小学生は「仕事が忙しかった」が18.3%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が17.3%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が12.0%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



(3) 育児休業取得後の職場復帰

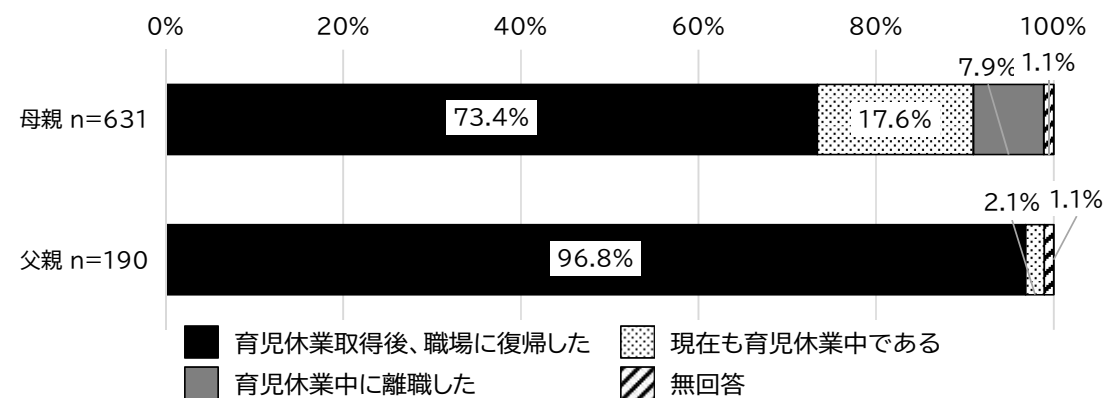
<就学前:問32-1>

問32で「取得した(取得中である)」と回答した方
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(単数回答)

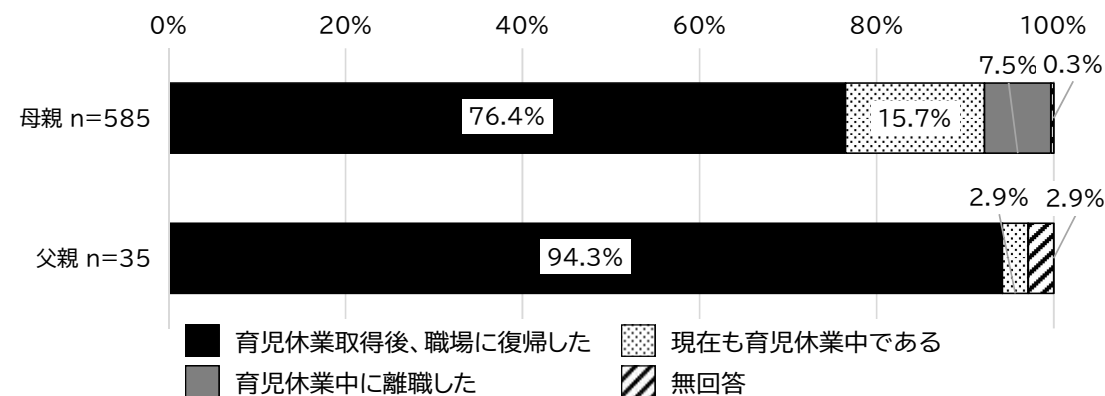
母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が73.4%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が17.6%、「育児休業中に離職した」が7.9%となっています。

父親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が96.8%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が2.1%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



(4) 復帰のタイミング

<就学前:問32-2>

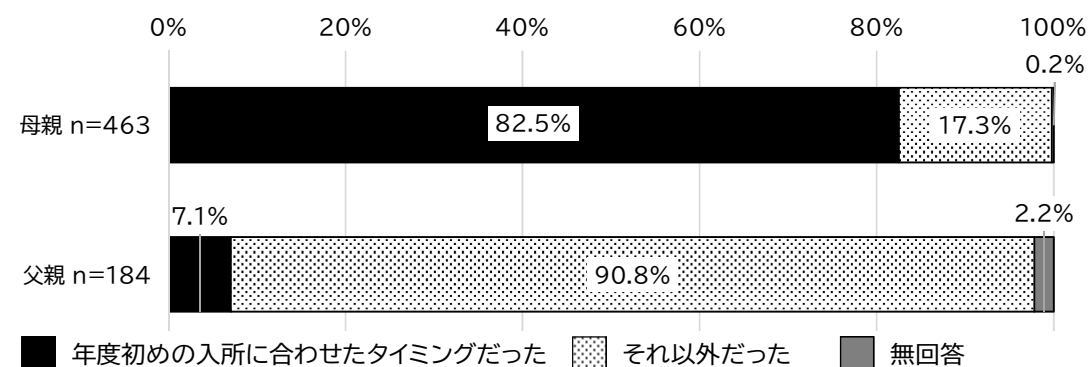
問32-1で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園等への入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(単数回答)

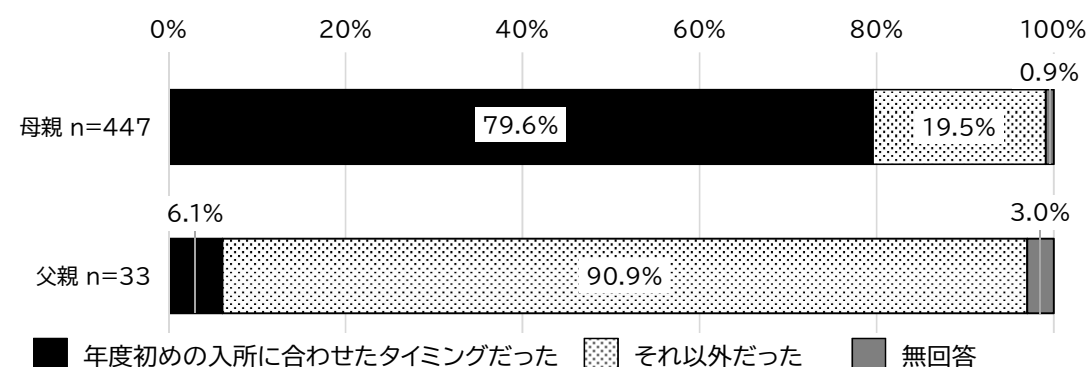
母親は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が82.5%、「それ以外だった」が17.3%となっています。

父親は「それ以外だった」が90.8%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が7.1%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



(5) 実際の取得期間と希望

<就学前:問32-3>

問32-1で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方

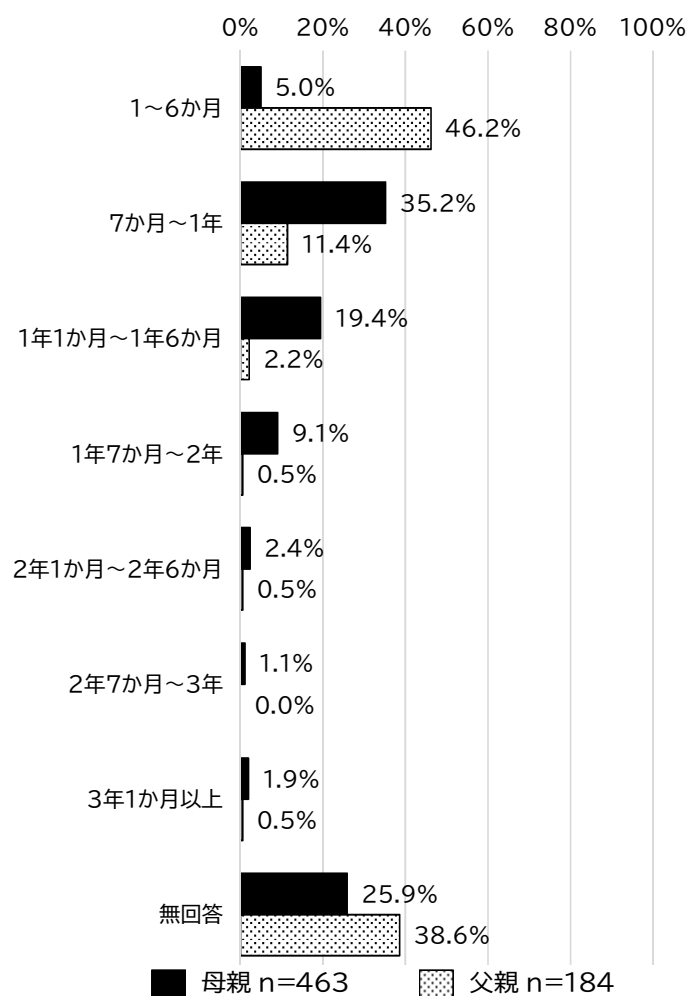
育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。(単数回答)

<実際>

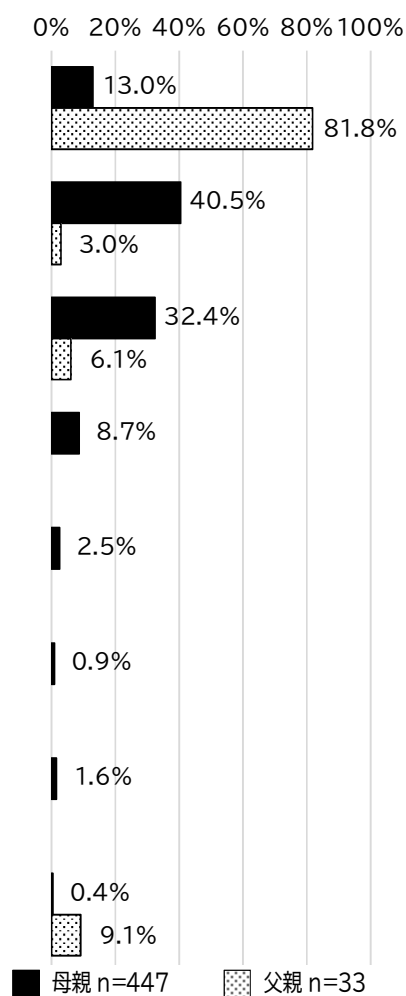
母親は「7か月～1年」が35.2%と最も多く、次いで「1年1か月～1年6か月」が19.4%、「1年7か月～2年」が9.1%、「1～6か月」が5%となっています。

父親は「1～6か月」が46.2%と最も多く、次いで「7か月～1年」が11.4%、「1年1か月～1年6か月」が2.2%、「1年7か月～2年」と「2年1か月～2年6か月」と「3年1か月以上」が0.5%となっています。

【今回調査】



【前回調査】

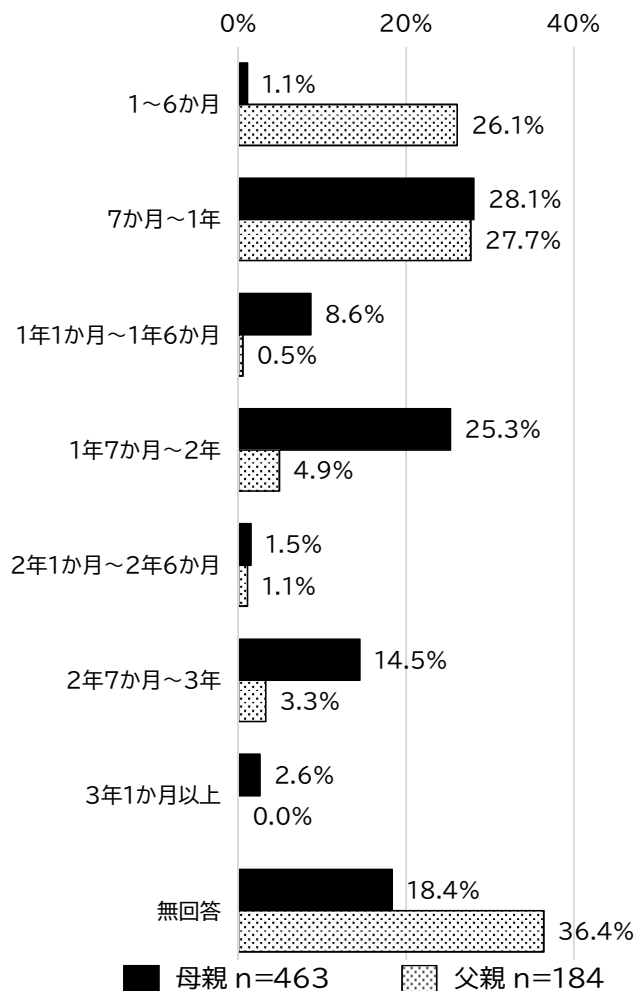


<希望>

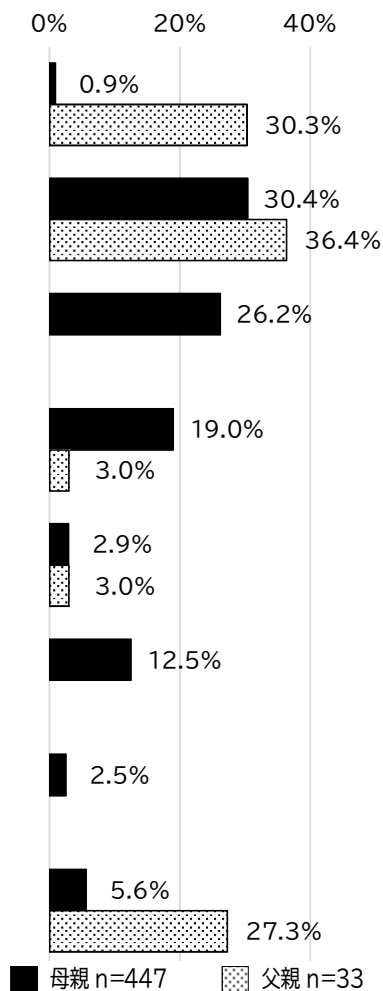
母親は「7か月～1年」が28.1%と最も多く、次いで「1年7か月～2年」が25.3%、「2年7か月～3年」が14.5%、「1年1か月～1年6か月」が8.6%、「3年1か月以上」が2.6%となっています。

父親は「7か月～1年」が27.7%と最も多く、次いで「1～6か月」が26.1%、「1年7か月～2年」が4.9%、「1年1か月～1年6か月」が0.5%、「2年7か月～3年」が3.3%、「2年1か月～2年6か月」が1.1%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



(6) 3歳まで取得できる休暇制度があった場合の取得希望

<就学前:問32-4>

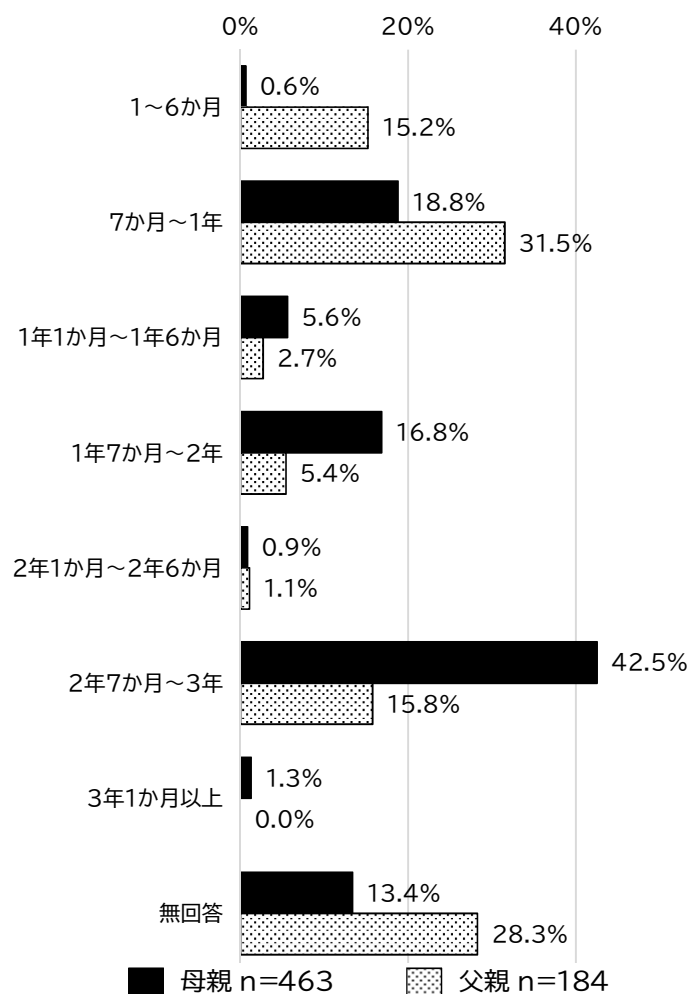
問32-1で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。(単数回答)

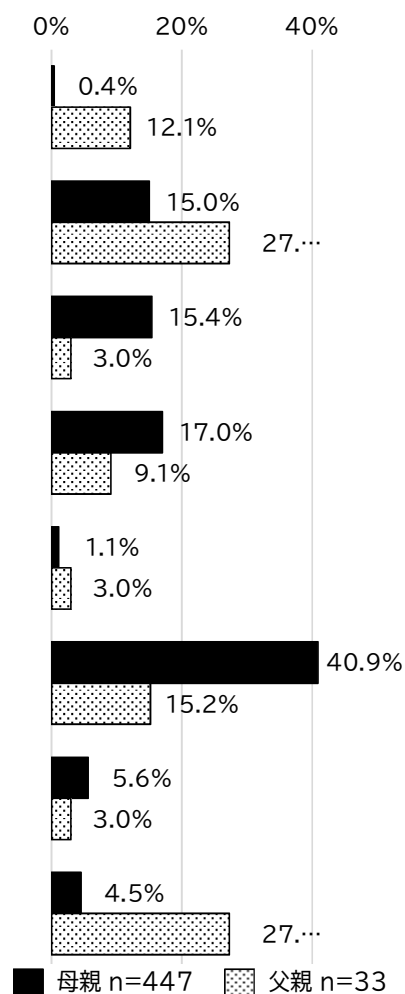
母親は「2年7か月～3年」が42.5%と最も多く、次いで「7か月～1年」が18.8%、「1年7か月～2年」が16.8%、「1年1か月～1年6か月」が5.6%、「3年1か月以上」が1.3%となっています。

父親は「7か月～1年」が31.5%と最も多く、次いで「2年7か月～3年」が15.8%、「1～6か月」が15.2%、「1年7か月～2年」が5.4%、「1年1か月～1年6か月」が2.7%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



(7)希望の時期に職場復帰しなかった理由

<就学前:問32-5>

問32-3で実際の復帰と希望が異なる方

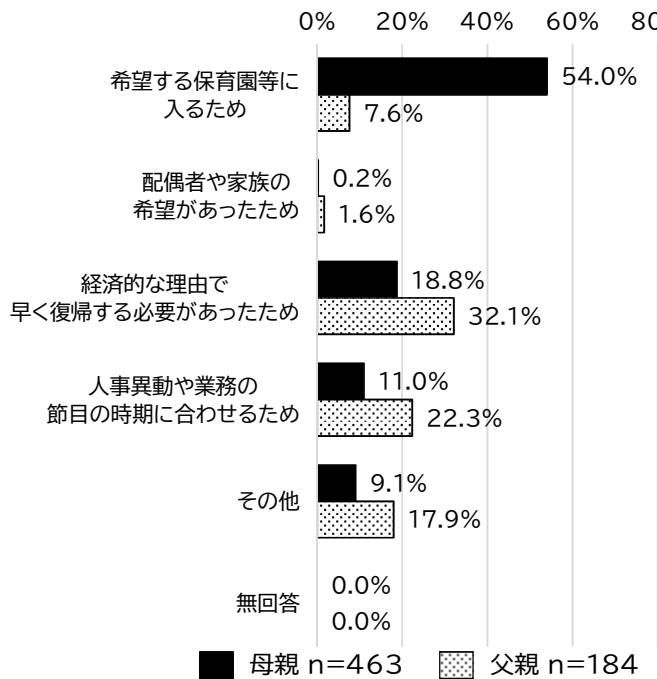
希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。(複数回答)

(1)希望より早く復帰した方

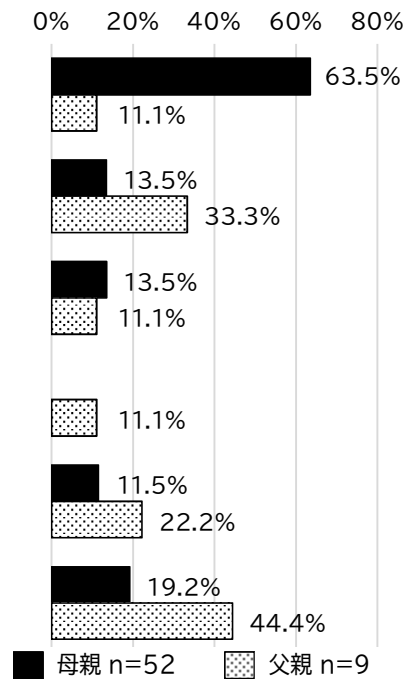
母親は「希望する保育園等に入るため」が54.0%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が18.8%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が11.0%、「その他」が9.1%、「配偶者や家族の希望があったため」が0.2%となっています。

父親は「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が32.1%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が22.3%、「その他」が17.9%、「希望する保育園等に入るため」が7.6%、「配偶者や家族の希望があったため」が1.6%となっています。

【今回調査】



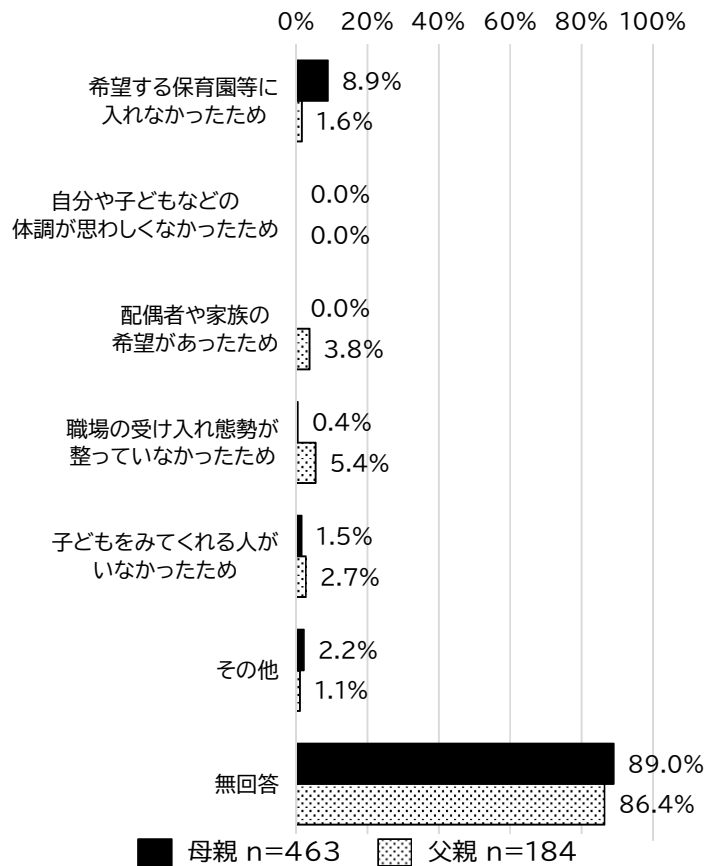
【前回調査】



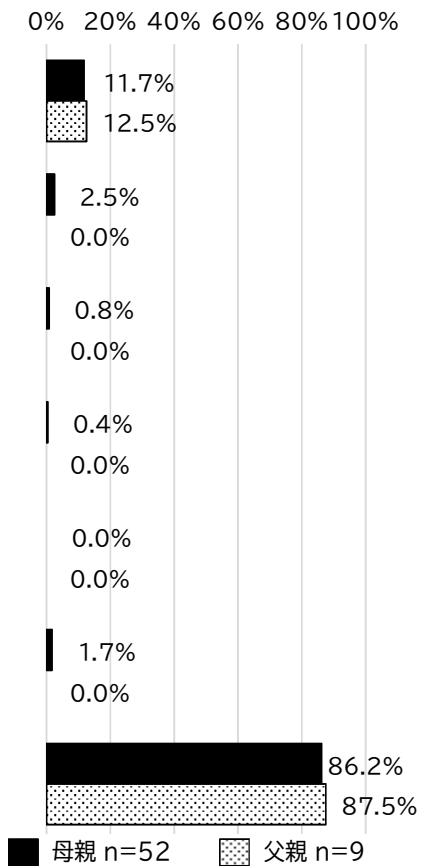
(2)希望より遅く復帰した方

母親は「希望する保育園等に入れなかったため」が8.9%と最も多く、次いで「その他」が2.2%、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が1.5%、「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」が0.4%となっています。
 父親は「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」が5.4%と最も多く、次いで「配偶者や家族の希望があったため」が3.8%、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が2.7%、「希望する保育園等に入れなかったため」が1.6%、「その他」が1.1%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



(8)短時間勤務制度利用の有無

<就学前:問32-6>

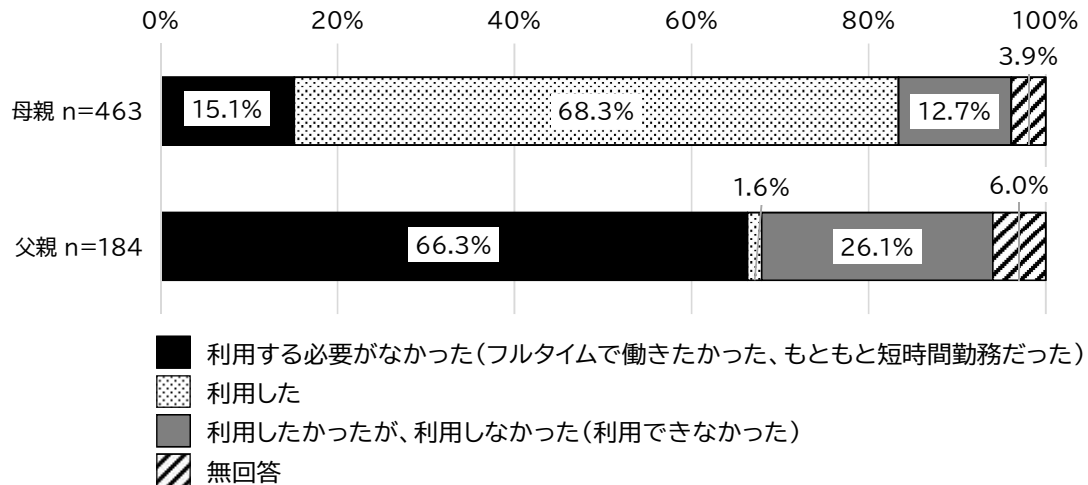
問32-1で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(単数回答)

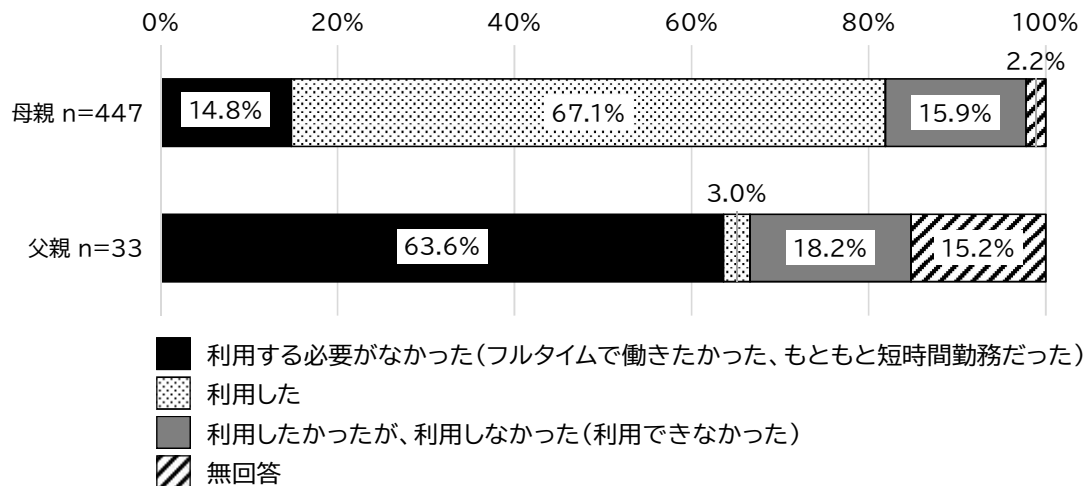
母親は「利用した」が68.3%と最も多く、次いで「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が15.1%、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が12.7%となっています。

父親は「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が66.3%と最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が26.1%、「利用した」が1.6%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



(9)短時間勤務制度を利用しなかった理由

<就学前:問32-7>

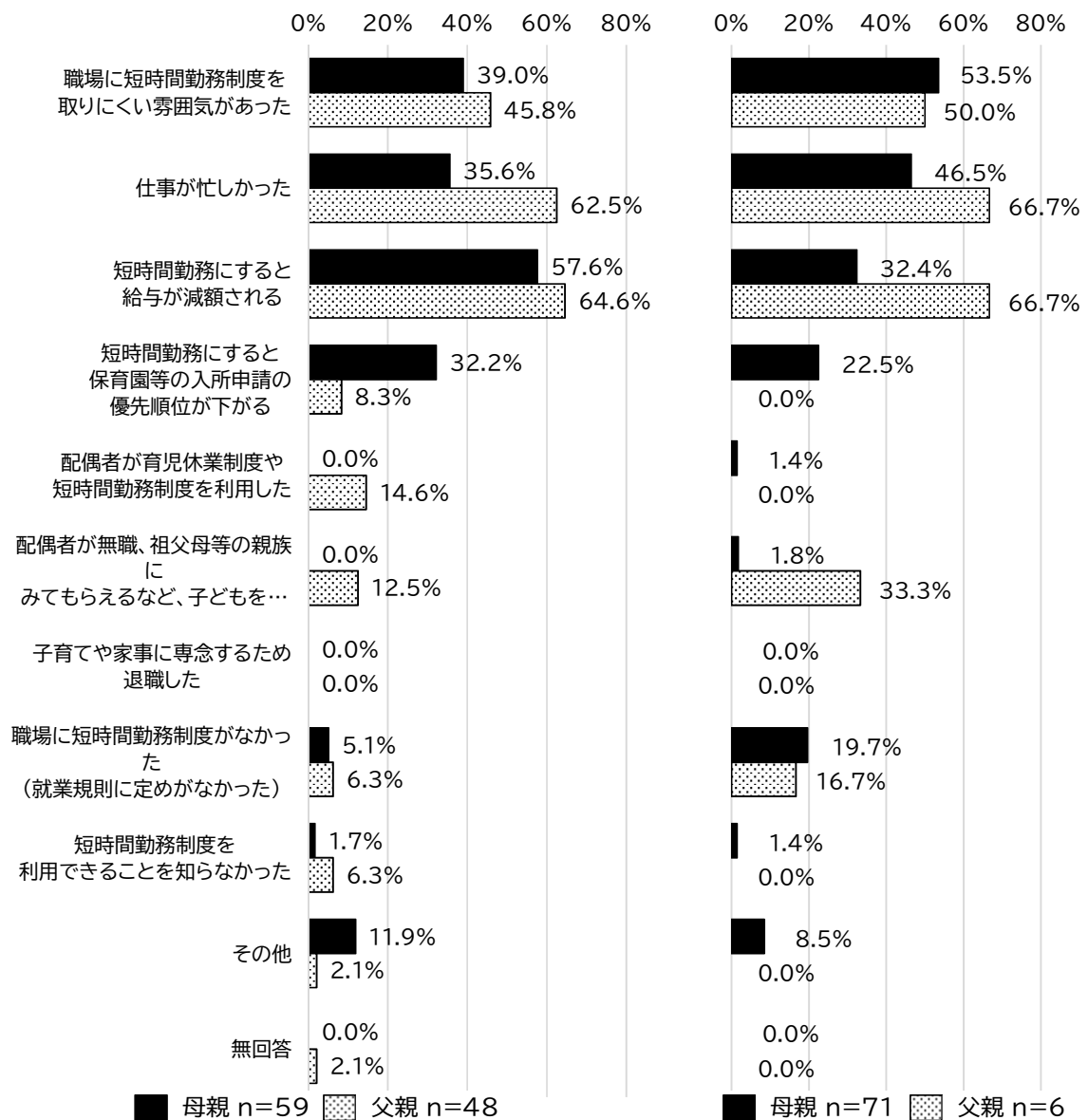
問32-6で「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方
短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(複数回答)

母親は「短時間勤務にすると給与が減額される」が57.6%と最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が39.0%、「仕事が忙しかった」が35.6%、「短時間勤務にすると保育園等の入所申請の優先順位が下がる」が32.2%、「その他」が11.9%となっています。

父親は「短時間勤務にすると給与が減額される」が64.6%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が62.5%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が45.8%、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」が14.6%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてる人がいた」が12.5%となっています。

【今回調査】

【前回調査】



(10)1歳時に必ず利用できる事業がある場合の育児休業取得希望

<就学前:問32-8>

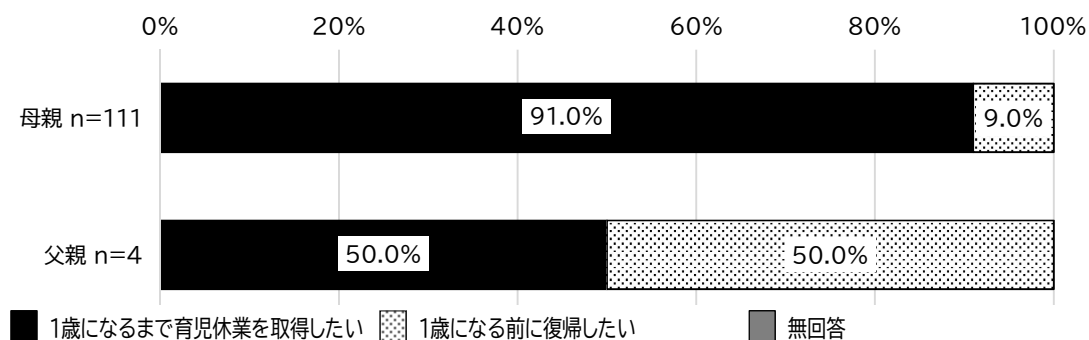
問32-1で「現在も育児休業中である」と回答した方

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる施設や事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる施設や事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(単数回答)

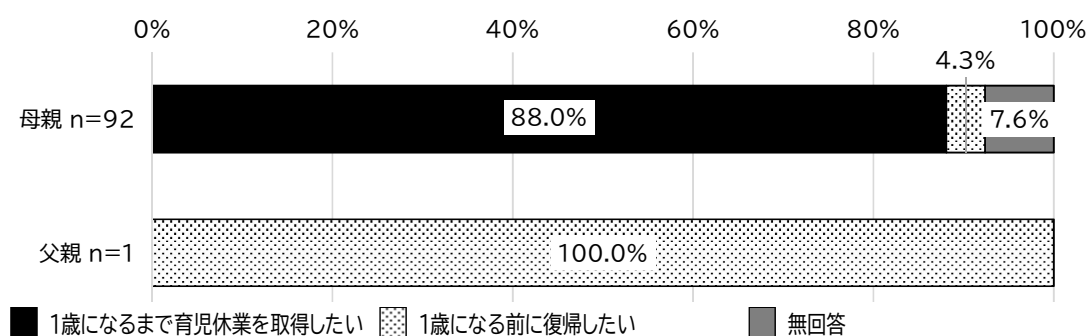
母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」が91.0%、「1歳になる前に復帰したい」が9.0%となっています。

父親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」と「1歳になる前に復帰したい」がともに50.0%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



(11)仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること

<就学前:問32-9、小中学生:問42>

【すべての方にうかがいます】仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることは何ですか。(複数回答)

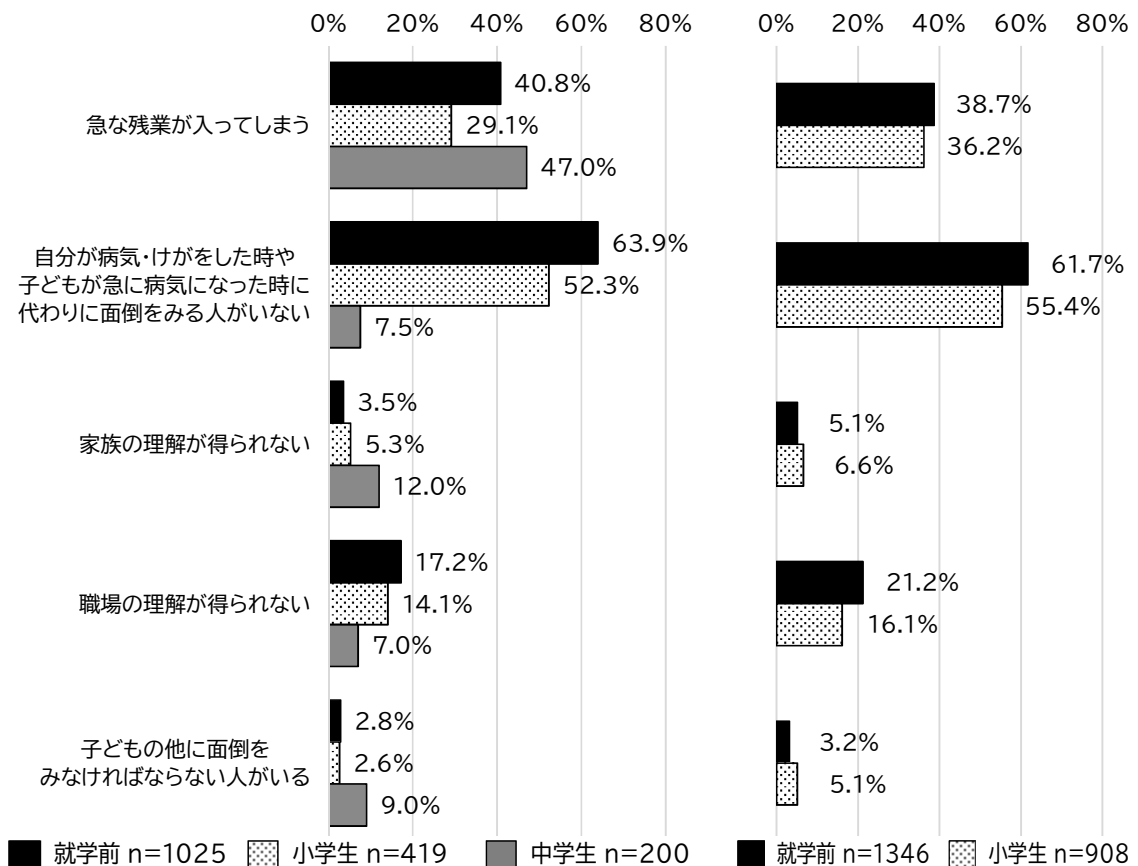
就学前保護者は「自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」が63.9%と最も多く、次いで「急な残業が入ってしまう」が40.8%、「子どもと接する時間が少ない」が38.9%、「職場の理解が得られない」が17.2%、「子どもの面倒をみてくれる保育園等などが見つからない」が13.8%となっています。

小学生保護者は「自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」が52.3%と最も多く、次いで「急な残業が入ってしまう」が29.1%、「子どもと接する時間が少ない」が27.9%、「職場の理解が得られない」が14.1%、「子どもの面倒をみてくれる保育園等などが見つからない」が9.5%となっています。

中学生保護者は「急な残業が入ってしまう」が47.0%と最も多く、次いで「子どもの面倒をみてくれる保育園等などが見つからない」が25.5%、「家族の理解が得られない」と「その他」がともに12%、「子どもの他に面倒をみなければならない人がいる」が9%となっています。

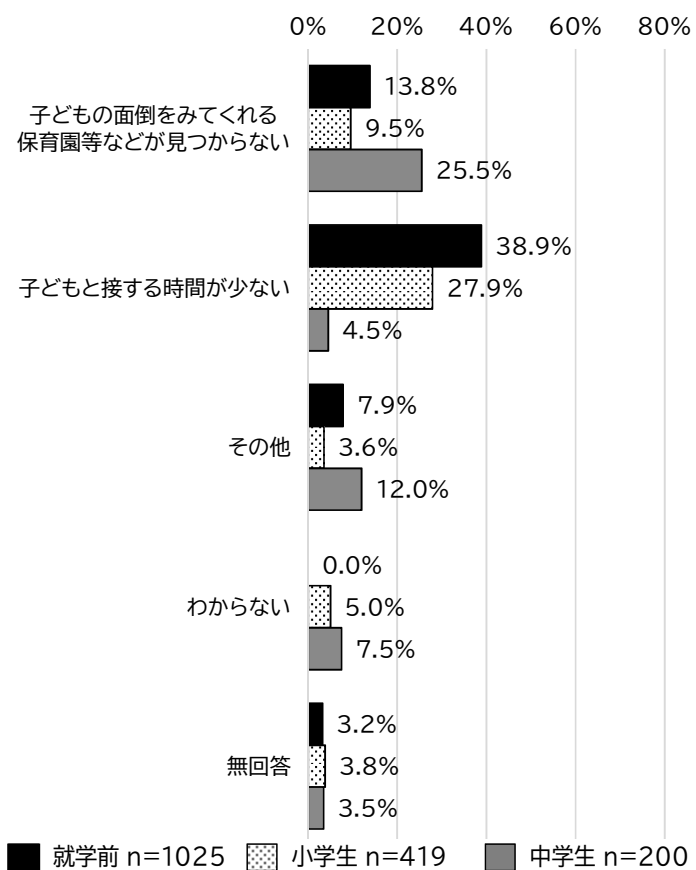
【今回調査】

【前回調査】

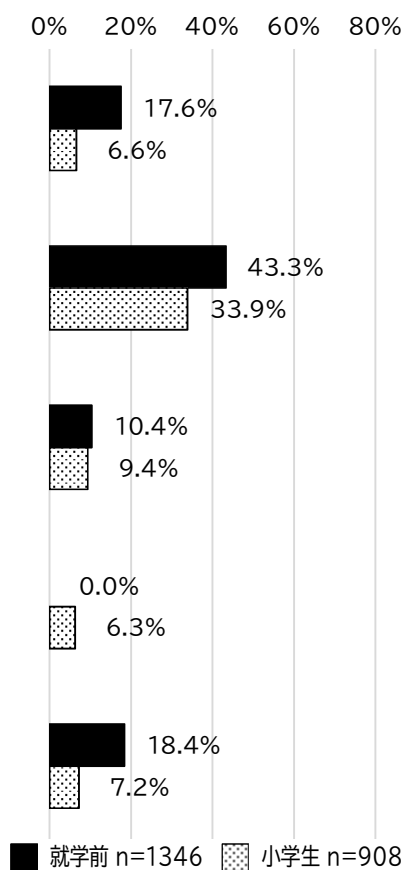


※グラフは次のページへ続く

【今回調査】



【前回調査】



12. 児童館の利用状況と利用意向

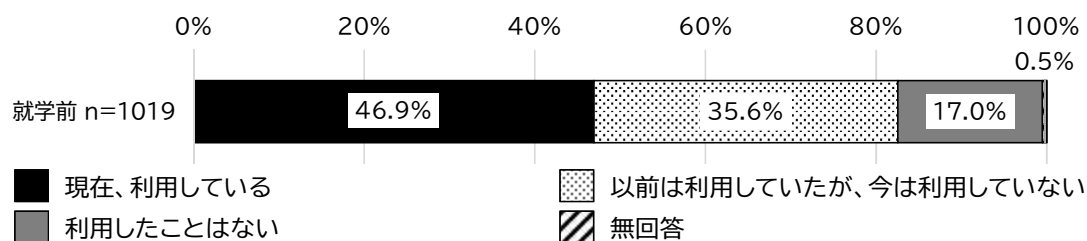
(1) 就学前児童の児童館の利用状況

<就学前:問33>

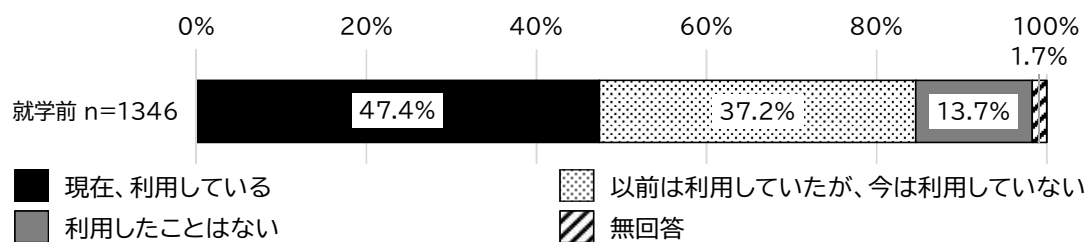
朝霞市には6つの児童館があります。市内の児童館を利用したことがありますか。(単数回答)

就学前保護者は「現在、利用している」が46.9%と最も多く、次いで「以前は利用していたが、今は利用していない」が35.6%、「利用したことはない」が17.0%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



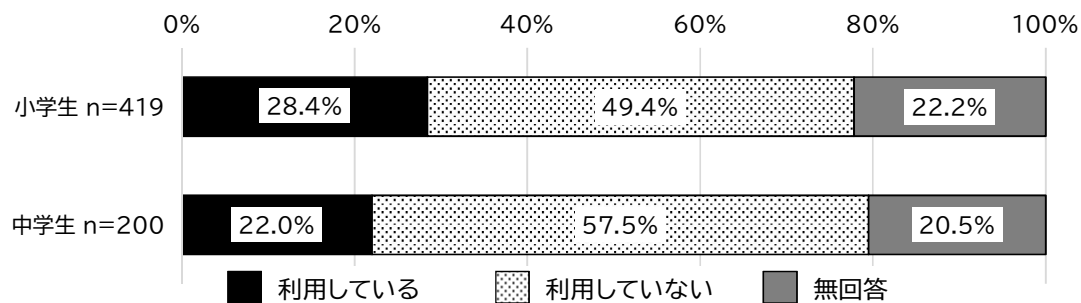
(2)小学生の児童館の利用状況

<小中学生:問19>

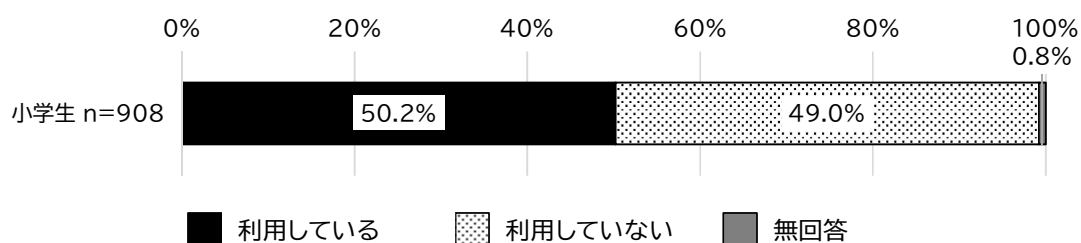
調査用紙が配布されたお子さんは、ふだん児童館を利用していますか。(単数回答)

小学生保護者は「利用していない」が49.4%、「利用している」が28.4%となっています。
中学生保護者は「利用していない」が57.5%、「利用している」が22.0%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし

(3)1年間に利用した児童館

<小中学生:問19-1>

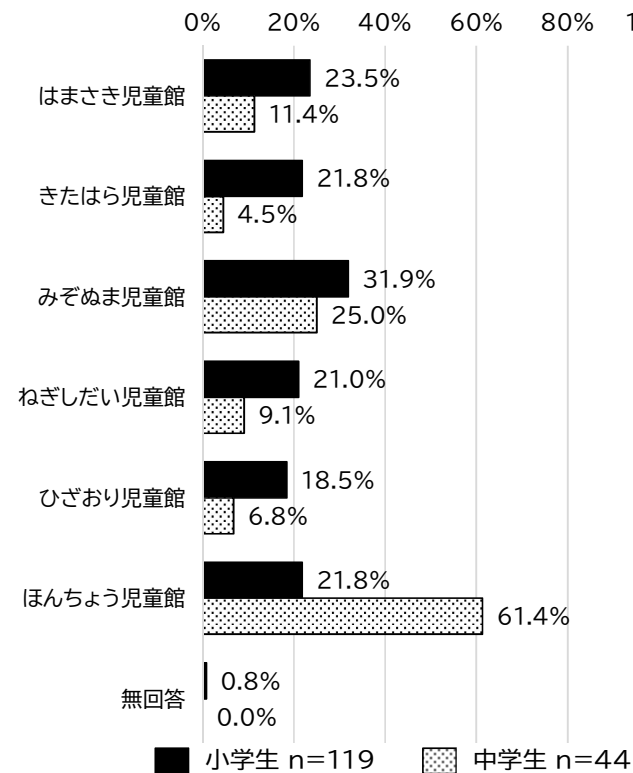
問19で「利用している」に回答した方

この1年以内に利用した児童館はどちらですか。(複数回答)

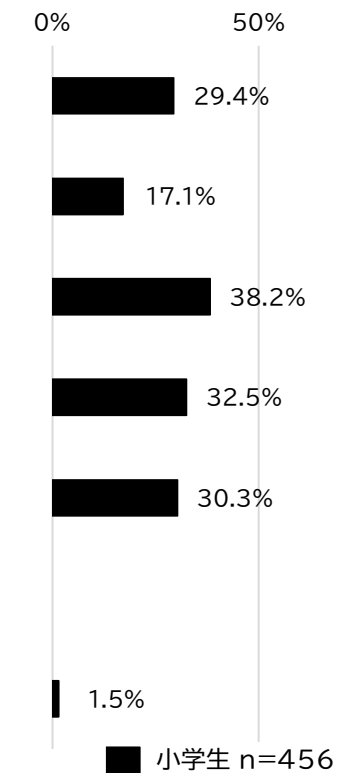
小学生保護者は「みぞぬま児童館」が31.9%と最も多く、次いで「はまさき児童館」が23.5%、「きたはら児童館」と「ほんちょう児童館」が21.8%、「ねぎしだい児童館」が21.0%となっています。

中学生保護者は「ほんちょう児童館」が61.4%と最も多く、次いで「みぞぬま児童館」が25.0%、「はまさき児童館」が11.4%、「ねぎしだい児童館」が9.1%、「ひざおり児童館」が6.8%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし

※前回調査では、「ほんちょう児童館」の選択肢なし

(4)児童館に対する要望

<小中学生:問19-2>

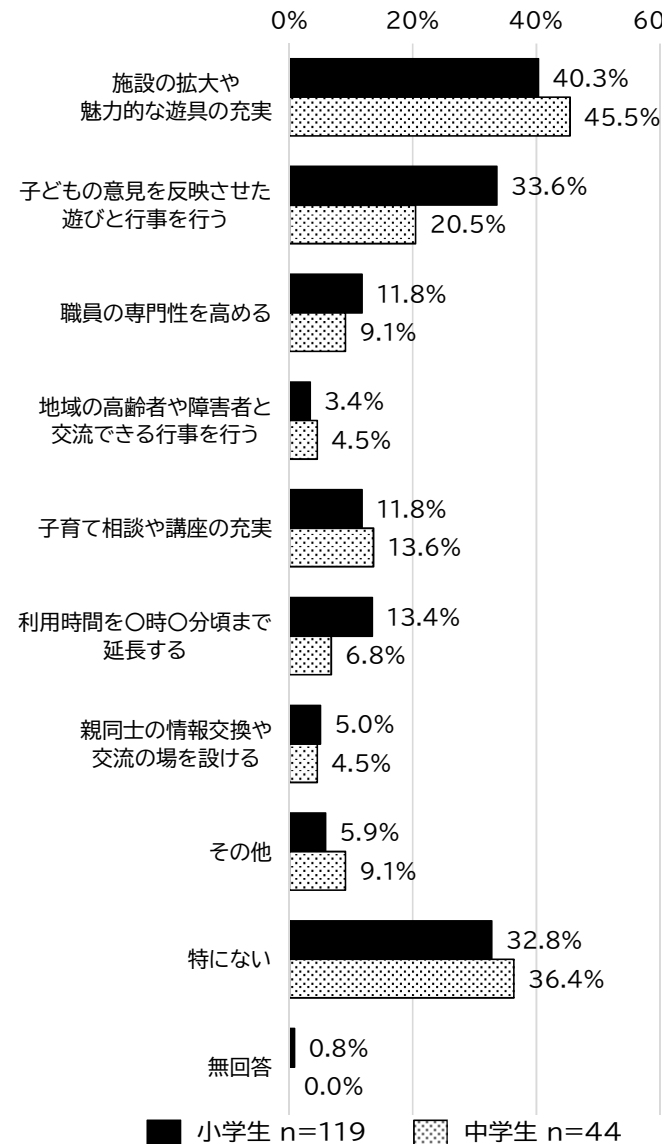
問19で「利用している」に回答した方

児童館に対して何か要望はありますか。(複数回答)

小学生保護者は「施設の拡大や魅力的な遊具の充実」が40.3%と最も多く、次いで「子どもの意見を反映させた遊びと行事を行う」が33.6%、「特にない」が32.8%、「利用時間を〇時〇分頃まで延長する」が13.4%、「職員の専門性を高める」が11.8%となっています。

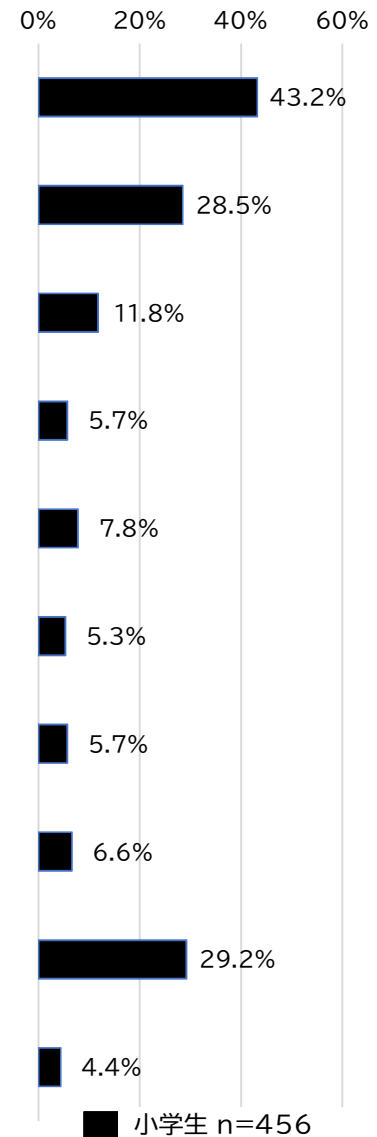
中学生保護者は「施設の拡大や魅力的な遊具の充実」が45.5%と最も多く、次いで「特にない」が36.4%、「子どもの意見を反映させた遊びと行事を行う」が20.5%、「子育て相談や講座の充実」が13.6%、「職員の専門性を高める」ち「その他」がともに9.1%となっています。

【今回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし

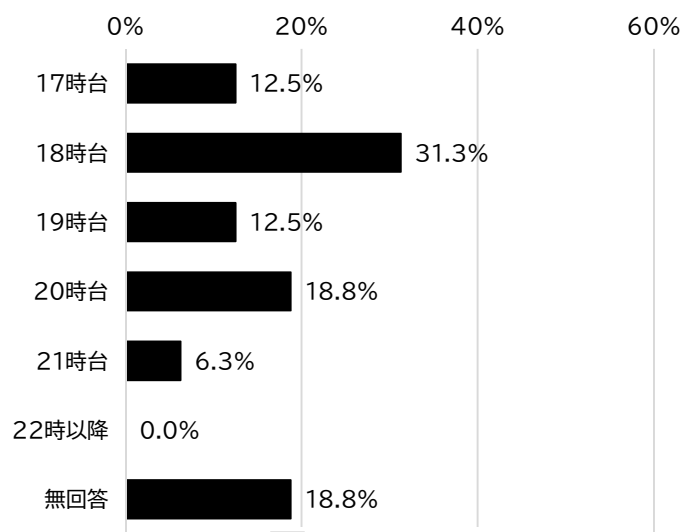
【前回調査】



利用時間の延長時間

小学生保護者は「18時台」が31.3%と最も多く、次いで「20時台」が18.8%、「17時台」と「19時台」が12.5%、「21時台」が6.3%、となっています。

【今回調査】

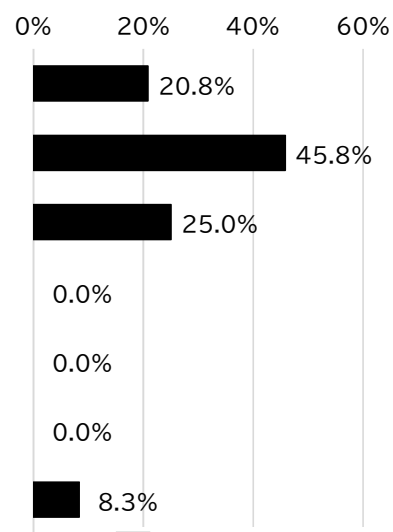


■ 小学生 n=16

※中学生保護者は、回答者がいなかったため図を省略している

※前回調査では、中学生保護者はなし

【前回調査】



■ 小学生 n=24

(5)児童館を利用していない理由

<就学前:問33-1、小中学生:問19-3>

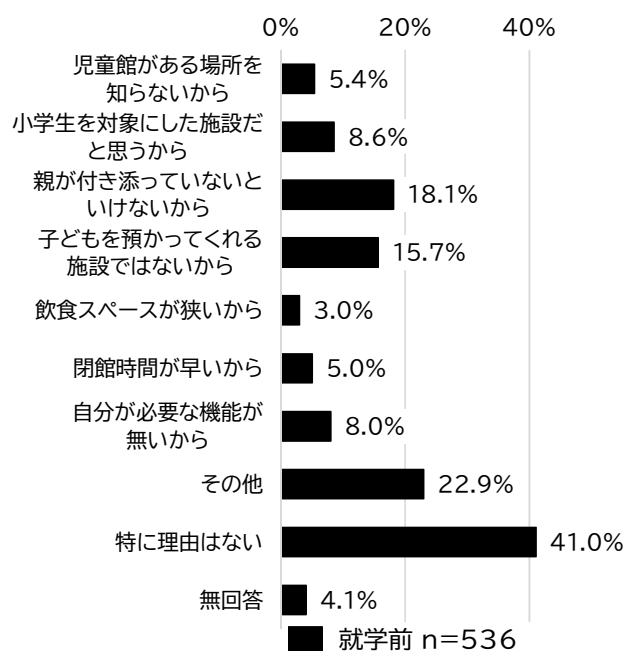
問33(就学前)／問19(小中学生)で「以前は利用していたが、今は利用していない」または「利用したことはない」に回答した方

児童館を利用していない理由は何ですか。(複数回答)

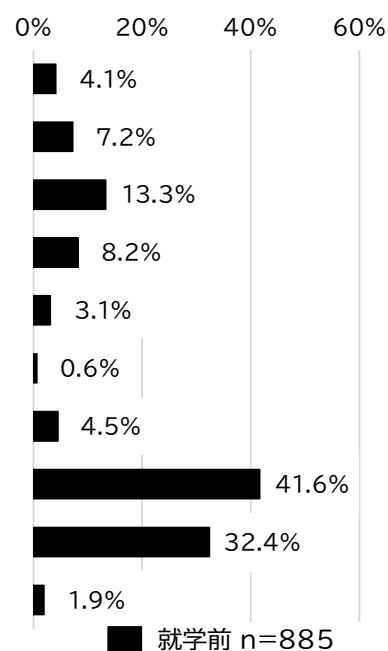
◆未就学児

就学前保護者は「特に理由はない」が41.0%と最も多く、次いで「その他」が22.9%、「親が付き添っていないといけないから」が18.1%、「子どもを預かってくれる施設ではないから」が15.7%、「小学生を対象にした施設だと思うから」が8.6%、「児童館がある場所を知らないから」が5.4%となっています。

【今回調査】



【前回調査】

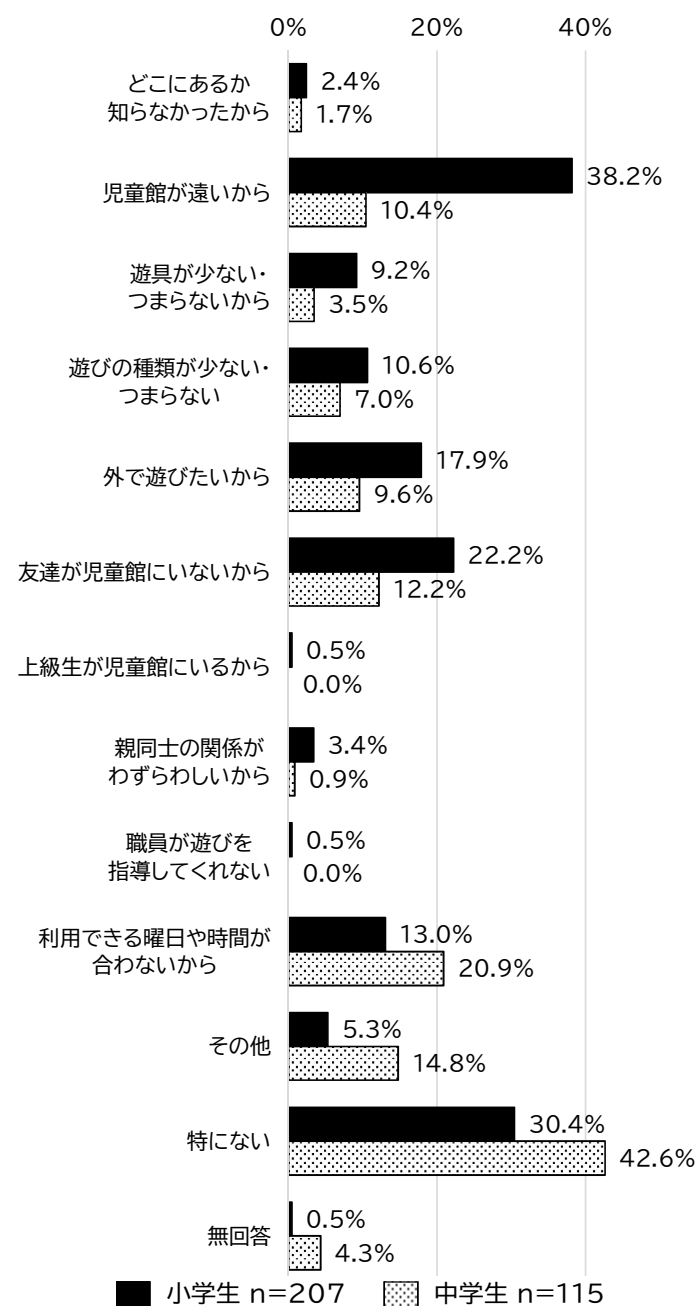


◆小・中学生

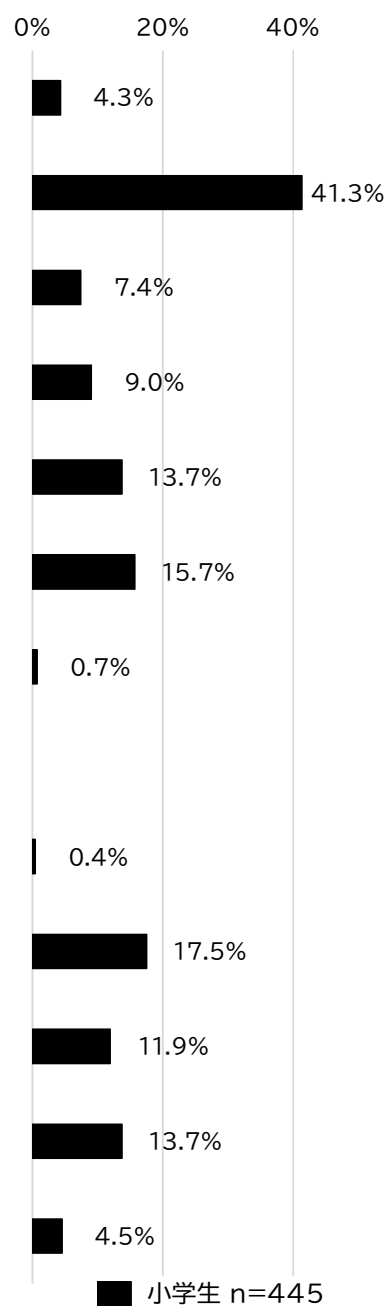
小学生保護者は「児童館が遠いから」が38.2%と最も多く、次いで「特にない」が30.4%、「友達が児童館にいないから」が22.2%、「外で遊びたいから」が17.9%、「利用できる曜日や時間が合わないから」が13.0%となっています。

中学生保護者は「特にない」が42.6%と最も多く、次いで「利用できる曜日や時間が合わないから」が20.9%、「その他」が14.8%、「友達が児童館にいないから」が12.2%、「児童館が遠いから」が10.4%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし

※前回調査では、「親同士の関係がわずらわしいから」の選択肢なし

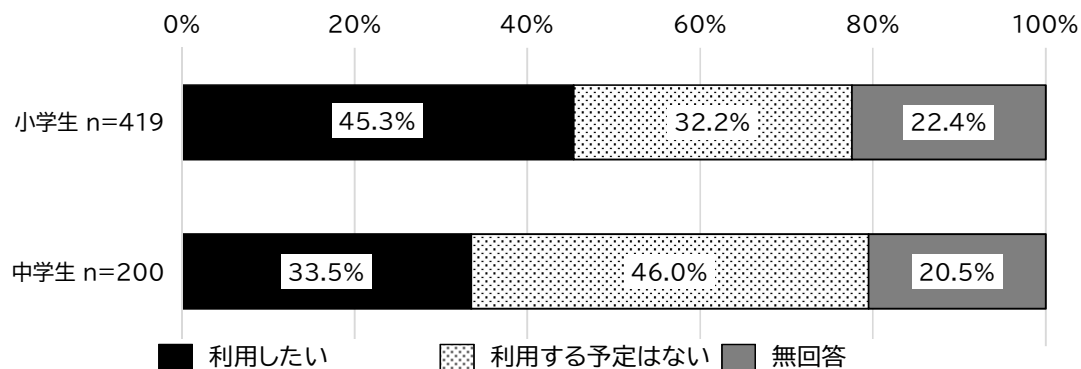
(6)児童館の利用意向

<小中学生:問20>

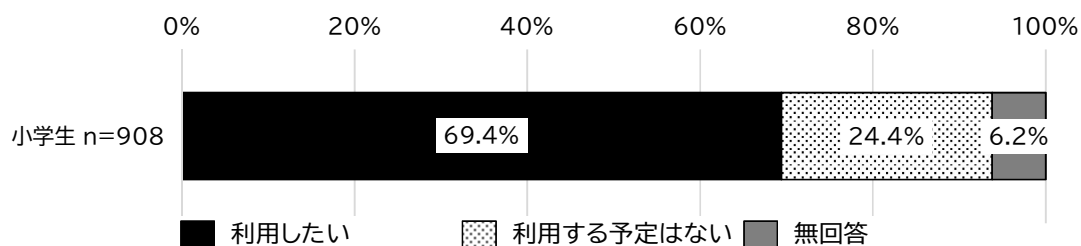
児童館を今後利用したいと思いますか。(単数回答)

小学生保護者は「利用したい」が45.3%、「利用する予定はない」が32.2%となっています。
 中学生保護者は「利用する予定はない」が46.0%、「利用したい」が33.5%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし

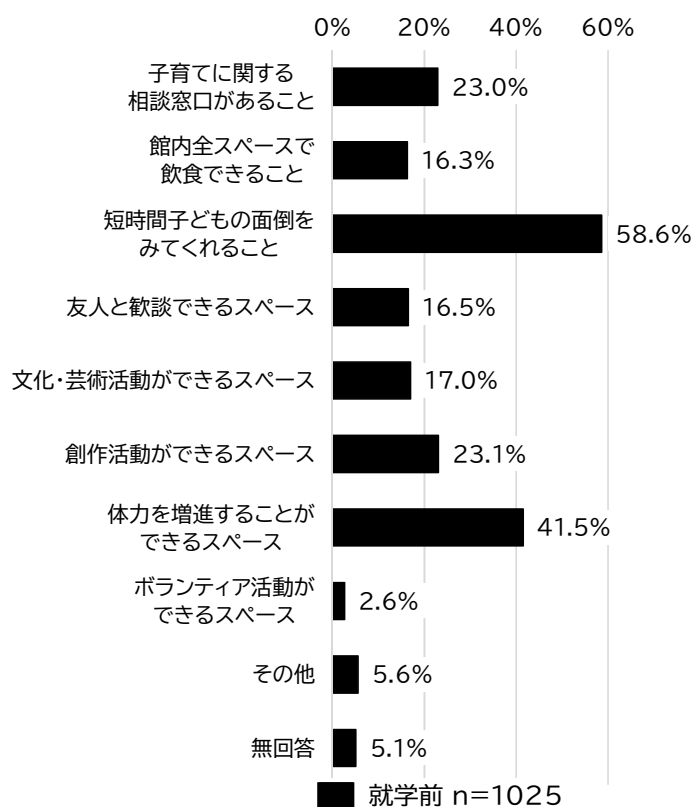
(7)児童館に希望するスペースや機能

<就学前:問34>

児童館にどのようなスペースや機能があれば、利用したいと思いますか。(複数回答)

就学前保護者は「短時間子どもの面倒をみてること」が58.6%と最も多く、次いで「体力を増進することができるスペース」が41.5%、「創作活動ができるスペース」が23.1%、「子育てに関する相談窓口があること」が23.0%、「文化・芸術活動ができるスペース」が17.0%となっています。

【今回調査】



【前回調査】

